

世界史

(解答番号 ~)

問題I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

ローマは周辺の都市国家を次々に征服し、前3世紀前半ごろには全イタリア半島を統一した。(a) 征服された諸都市は、ローマと同盟を結ばされることになった。

つづいて (b) ローマはカルタゴと衝突し、3回にわたる戦争となった。 その後も征服戦争が続くなかで、(c) ローマ内外で社会的変容が発生した。 とくに前2世紀後半以降、有力政治家が互いに暴力で争う「内乱の1世紀」に突入した。前60年には、(d) カエサルらによって第1回三頭政治が始まった。カエサル暗殺後、彼の養子 (e) オクタウィアヌスが他の有力者との争いを制し、(e) 権力を握った。 こうしてローマの内乱は終わり、帝政時代が開始された。

帝政が始まってからの約200年間は、「(f) ローマの平和」とよばれる時代であった。そのなかには、(g) 五賢帝の時代も含まれる。だが帝国財政の行き詰まりや経済不振の結果、3世紀には各地の軍団が独自に皇帝を擁立する (h) 軍人皇帝の時代となった。さらに375年、(i) ゲルマン人の大移動が始まった。ローマを中心とする西ローマ帝国は、こうした状況に対応することができず、476年に (j) ゲルマン人傭兵隊長のオドアケルによって滅亡させられた。一方、(k) 東ローマ帝国 (ビザンツ帝国)はゲルマン人の大移動によって壊滅的な打撃を受けなかったこともあり、その後もおよそ1000年にわたって存続した。なお、アラビア半島より勢力を拡大した (l) イスラーム勢力は、イベリア半島へと勢力を拡大させていく。

最後に、ローマ人の文化にも目を向けておこう。後世に大きな影響を与えた文化遺産としては、まず (m) ローマ法があげられる。さらにコロッセウムや、(n) 水道橋など、多くの歴史的建築物も残されている。その他、たとえば のように現代に残る多くの都市がローマ帝国の時代に起源をもっている。

問1 文中の空所アに入れる都市名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① ケルン
- ② アレキサンドリア
- ③ ベルリン
- ④ ブダペスト

問2 下線部(a)に関連して、ローマの征服活動の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 地中海征服の主力を担ったのは、剣闘士から成る歩兵であった。
- ② 征服した諸都市の住民に対しては、市民権が付与されなかった。
- ③ イタリア半島北部のギリシア人、同南部のエトルリア人を次々に征服した。
- ④ この時期に建設されたアッピア街道は、軍隊の迅速な移動を可能とした。

問3 下線部(b)に関連して、都市国家カルタゴの位置として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。



問4 下線部(c)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 有力者による土地の占有を制限する改革が試みられた。
- ② ローマの軍事力の新たな主力として騎士階級が登場した。
- ③ 中小農民は、属州からの安価な生糸や羊毛の流入で打撃を受けた。
- ④ 無産市民を使役した大規模な農場経営はラティフンディアとよばれる。

問13 下線部(l)に関連して、732年、カール・マルテルと対決したイスラーム勢力の王朝の名称として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 13

- ① アッバース朝 ② ウマイヤ朝 ③ ナスル朝 ④ 後ウマイヤ朝

問14 下線部(m)に関する記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 14

- ① ローマ法が当初より万民法とされた理由は、世界帝国としての性格による。
 ② 明治政府が採用した民法にも、ローマ法の伝統が受け継がれていた。
 ③ ゲルマン人の諸国家においても、ローマ法が継承されるケースがあった。
 ④ 6世紀にトリボニアヌスら法学者によって『ローマ法大全』が編纂された。

問15 下線部(n)に関連して、前1世紀末に建設されたガール水道橋が現存する国家の名称として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① フランス ② イタリア ③ ギリシア ④ スペイン

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

地中海から紅海、ペルシア湾を通り、アラビア海、インド洋を渡って、さらに東南アジアや中国に至る「海の道」を、航海^(a)することで、古くから交易が活発に行なわれた。特に、南インド^(b)は、その中間点として東西地域との交流が盛んであった。また東南アジアにおいても、南アジアや東アジア地域との交易を通して、インドシナ半島を中心とした大陸部^(c)やマレー半島から現在のインドネシアを含む島々を中心とした諸島部各地^(d)で、多くの都市が発展し独自の文明が築かれた。このような海上貿易によって、中国からは多くの陶磁器^(e)が西方に運ばれた。また中国では明の永楽帝の時代に、ムスリムの宦官 ア が大艦隊を率いてインド洋から、アフリカ沿岸まで数回遠征を行なった。一方陸路では、ユーラシア大陸の草原地帯で生活する遊牧民が大陸の東西交易や文化交流に重要な役割を担っており、その際に利用したルートは「草原の道」とよばれた。また、ユーラシア大陸の北緯30度から45度に沿った乾燥地帯には、オアシス都市が点在し、それらの都市間を多くの隊商が行き来することで、「オアシスの道」^(g)を形成した。草原の道とオアシスの道を合わせて、一般に「絹の道(シルク・ロード)」とも称される。

紀元前から紀元後5世紀ごろには、ユーラシア大陸の東西で遊牧民族の活動が活発になり、その後も、トルコ系^(h)、イラン系などのさまざまな遊牧国家が興隆した。なかでも、モンゴル帝国⁽ⁱ⁾は広大な領土を治め、第2代ハーン(カアン)の イ はカラコルムを都に定め領土を拡大していった。第5代フビライ(クビライ)は大都に都を置き、国号を中国風の元(大元)^(k)と改めた。この帝国の成立によってユーラシア東西の統合が進んだことで、^(l)政治や経済、^(m)文化や学問の分野で発展がみられた。

問1 文中の空所アに入れる人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① 鄭成功 ② 朱元璋 ③ 鄭和 ④ 李自成

問2 文中の空所イに入れる人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① ジョチ ② オゴタイ(オゴデイ)
 ③ グユク ④ バトゥ

7 (世界史)

問3 下線部(a)に関連して、各時代、各地域で利用された船についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① 古代ギリシアでは、戦争で大型帆船が用いられ、多くの無産市民が船員として活躍した。
- ② 10世紀から11世紀にかけては、ムスリム商人らがガレー船を操り、インド洋海域を結ぶ交易ネットワークを形成した。
- ③ 宋代以降、特に発達したジャンク船を活用して、中国商人らはインド洋などで航海に出た。
- ④ 16世紀にスペインで開発されたダウ船は、その後大西洋や太平洋の航路で広く利用された。

問4 下線部(b)に関連して、紀元後4世紀ごろまでの南インドについての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① 紀元前3世紀ごろから紀元後4世紀ごろにかけて、初期のグプタ朝が栄えた。
- ② インド半島南部ではアーリヤ人がタミル語を使用した文芸活動を盛んに行なった。
- ③ 1世紀ごろの南インドではムスリム商人が精力的に活動していた。
- ④ インド洋では季節風（モンスーン）を利用した貿易が盛んに行なわれた。

問5 下線部(c)に関連して、この地域で興った国家についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① 1世紀末に建国された扶南のオケオの遺跡からはローマの貨幣なども出土した。
- ② 2世紀末から17世紀にかけてベトナム中部にバガン朝が興った。
- ③ モン人によってカンボジアが興り、12世紀にはアンコール・ワットが造営された。
- ④ 13世紀なかばには、タイ北部にタイ人による最古の王朝であるドヴァーラヴァティー王国が発展した。

(世界史) 8

問6 下線部(d)に関連して、この地域で興った国家についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① 7世紀なかばには、スマトラ島のパレンバンを中心に南詔が成立した。
- ② 8世紀にはジャワ島で、大乘仏教国のマタラム朝が成立し、ポロブドゥールなどの寺院が建造された。
- ③ 10世紀から14世紀ごろのスマトラ島からマレー半島のマラッカ海峡兩岸にわたって、港市国家群とみられる三仏齊が繁栄した。
- ④ 13世紀末にはジャワ島で、元軍の干渉を排してヒンドゥー王朝のアチェ王国が興った。

問7 下線部(e)に関連して、陶磁器の歴史についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- ① 唐では青花などの色鮮やかな磁器がつくられた。
- ② 宋代から明代にかけて、景德鎮が世界有数の陶磁器の産地となった。
- ③ 14世紀には白磁の上に主に単色で文様を描く赤絵が誕生した。
- ④ 新羅では中国の磁器を改良した青磁が発展した。

問8 下線部(f)に関連して、アフリカの交易についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① エチオピア高原では、紀元前1世紀ごろまでにキリスト教国であるモノモタパ王国が金、奴隸、象牙などを扱う交易で栄えた。
- ② モガディシュ、マリンディ、キルワなどの海港が発展した海岸地方では、スワヒリ語が共通語として用いられるようになった。
- ③ ソンガイ王国はサハラ北部の岩塩と自国の金を交換する隊商交易で栄えたが、11世紀後半にムラービト朝の攻撃を受けて衰退した。
- ④ ナイル川中流の交易都市トンブクトゥは岩塩と金の交易都市として栄え、またイスラームの学問の中心地として発展した。

問9 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

- ① 敦煌は北魏の首都として栄え、壮麗な石窟寺院が多く造営された。
- ② タラス近郊において、751年にヴァルダナ朝と隋による戦いが勃発した。
- ③ タブリーズはカスピ海の西側に位置し、チャガタイ・ハン国（チャガタイ・ウルス）の首都として栄えた。
- ④ サマルカンドはティムール朝の首都として栄え、壮大なモスクやマドラサが建設された。

問10 下線部(h)に関連して、紀元前から紀元後5世紀ごろの遊牧国家についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

25

- ① 紀元前7世紀ごろに黒海北岸の草原地帯を支配したアヴァール人は、古代オリエント地域まで軍事活動の範囲を広げた。
- ② タリム盆地東部の月氏は、その後中央アジア西南部に移動して大月氏となり、その活動領域からはやがてクシャーナ朝が生まれた。
- ③ 紀元前3世紀末に即位した匈奴の完顔阿骨打は、東アジア北部から中央アジアにかけての広大な地域を支配した。
- ④ 3世紀には中央ユーラシアで遊牧民の活動が活発となり、西夏などの五胡と称された遊牧諸民族が華北に進出した。

問11 下線部(i)に関連して、トルコ系遊牧民族についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① 突厥は柔然を滅ぼし、モンゴル高原から中央アジアにいたる帝国を築いたが、6世紀末に東西に分裂した。
- ② 突厥は文字をもたない民族であったため、その記録は唐など国外の記述に残っているだけである。
- ③ ウイグルはエフタルを滅ぼし、さらに唐で起こった安史の乱を鎮圧するなどして強国になったが、キルギスに攻められて解体した。
- ④ 中央ユーラシアを西進したカラキタイ（西遼）は、10世紀なかばにイスラーム教を受容した。

問12 下線部(j)に関連して、この国の形成についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① 1206年にモンゴル部族のテムジンは、ドゥーマで全遊牧部族のハン（カン）に推戴された。
- ② モンゴル帝国では八旗という狩猟組織から発展した軍制が整備された。
- ③ モンゴル軍はセルジューク朝から独立したホラズム・シャー朝に侵攻し、これを滅ぼした。
- ④ モンゴル軍は1241年にカタラウヌムの戦いでドイツ・ポーランド連合軍をやぶった。

問13 下線部(k)に関連して、元の制度や経済についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① ジャムチという駅伝制度を設けた。
- ② 首都を長安に置いた。
- ③ 契丹人や女真人は南人、南宋の人々は漢人とよばれた。
- ④ 国内海運の利用は低下し、広州や泉州は衰退した。

問14 下線部(l)に関連して、モンゴル帝国の国際交流についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 29

- ① フランス王ルイ9世はプラノ・カルピニを、ローマ教皇はルブルックを使節としてモンゴル高原に派遣した。
- ② イタリア商人のマルコ・ポーロがまとめた『三大陸周遊記』は、ヨーロッパで大きな反響をよんだ。
- ③ 交鈔という紙幣の利用が増加し、利用価値が低下した銀銭は日元貿易で日本へ輸出された。
- ④ 13世紀末に教皇の命で元に派遣されたモンテ・コルヴィノは、現地でカトリックを布教した。

問15 下線部(m)に関連して、モンゴル帝国における文化や学問についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

30

- ① 郭守敬によって授時暦がつくれ、のちに日本の貞享暦にも影響を与えた。
- ② 都市の庶民の間では、『紅樓夢』や『儒林外史』などの小説が普及した。
- ③ ラシード・アッディーンはユーラシア世界史『世界史序説』を記した。
- ④ チベット仏教僧のツォンカパは多様な言語を音写する文字をつくった。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

1911年に ア での武装蜂起から始まった 辛亥革命によって、清朝は滅亡した。新たに成立した 中華民国は、孫文を臨時大総統としたが、まもなく イ が取って代わった。1919年に組織された 中国国民党は、1926年に 北伐を開始した。その結果、中華民国は 中国国民党によって再統一されたが、1937年から日本との 全面戦争に突入した。戦時中、中国国民党が分裂したものの、中華民国は日本に勝利した。しかし 中国国民党は、まもなく始まった内戦で 中国共産党に敗れ、中華人民共和国が成立した。

1958年からの大躍進政策の失敗で、毛沢東の求心力が低下した。毛沢東は、文化大革命によって再び政権を掌握したが、政治だけではなく経済や社会も混乱した。しかし、ソヴェト社会主義共和国連邦（ソ連）との関係が契機となって、中華人民共和国は西側諸国に接近し、台湾の中華民国に代わって、国際連合における中国の代表権を得た。そして、毛沢東の死去によって文化大革命は終結し、改革開放が開始された。そこでは経済改革だけではなく、政治改革も志向されたが、1989年の 天安門事件によってそうした動きは停止した。

問1 文中の空所アに入れる地名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① 杭州 ② 上海 ③ 広州 ④ 武昌

問2 文中の空所イに入れる人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① 李鴻章 ② 康有為 ③ 袁世凱 ④ 梁啓超

問3 下線部(a)を契機に独立を宣言した地域の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

- ① 外モンゴル — 新疆
- ② 外モンゴル — チベット
- ③ 内モンゴル — 新疆
- ④ 内モンゴル — チベット

15 (世界史)

問13 下線部(k)に関連して、中ソ関係の記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 43

- ① 中華人民共和国はスターリン批判に同調した。
- ② 中華人民共和国は平和共存政策に反発した。
- ③ 中華人民共和国とソ連は1963年から公開論争を始めた。
- ④ 中華人民共和国とソ連は1969年に国境で軍事衝突した。

問14 下線部(l)に関連して、蔣経国総統の後継者となった人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 44

- ① 李登輝 ② 蔡英文 ③ 胡耀邦 ④ 陳水扁

問15 下線部(m)の結果、中国共産党総書記を解任された人物とその後を継いだ人物の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 45

- ① 解任：趙紫陽 — 後継：江沢民
- ② 解任：趙紫陽 — 後継：鄧小平
- ③ 解任：鄧小平 — 後継：趙紫陽
- ④ 解任：鄧小平 — 後継：江沢民